

第30回 特別講演会

豊田町に分布する ジュラ紀前期の地層に記録された大規模環境変動

泉 賢太郎 先生（千葉大学教育学部）

豊田町には、豊浦層群と呼ばれるジュラ紀の海の地層が広く分布しています。豊浦層群は、多様なアンモナイトの化石が見つかることで有名ですが、実はそれ以外にも地質学的な重要性を秘めているのです。

今から約1億8200万年前のジュラ紀前期には、地球温暖化が世界的に進行し、それに伴い大規模な気候変動が引き起こされました。豊浦層群には、ジュラ紀前期の気候変動の証拠が実際に記録されていることが分かってきました。講演者は、国内外の共同研究者達と豊浦層群の研究を継続的に行っており、学術的に重要な成果が明らかになってきました。例えば、

温暖化に伴って海洋の貧酸素化が進行することが懸念されていますが、ジュラ紀前期の地球温暖化の際にも深刻な海洋貧酸素化が起こった証拠が豊浦層群に記録されています。また、そのような海洋貧酸素化が進行すると、海洋生物たちにも深刻な被害が及ぶことが懸念されています。豊浦層群産の化石を検討した結果、やはりジュラ紀前期に起こった海洋貧酸素化の影響で、様々な種類の生物たちに悪影響を与えていたことが分かってきました。講演では、地質調査時の様子なども交えながら、豊浦層群記録された気候変動と海洋生態系への影響についてご紹介いたします。



▲豊浦層群の地層の様子。地層を構成しているのは、主に黒色の泥岩です。一見すると何の変哲もない“黒い石”が、ジュラ紀前期に起こった大規模気候変動の証拠を記録しているのです。

- ・開催日時：2019年11月16日（土）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホテルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。
豊田ホテルの里ミュージアム
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355
E-mail：thm16@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名